必ズシモ然ラザル事アリサレバオ互ニ會合シ意見ヲ交換シ其ノ結果正ナリトセラレタル所ニヨリテ進マザルベカラズ。之ガ為ニ本會ヲ組織シタルモノナリ。諸君ハ此趣旨ヲ了解セラレテ入會セラレタルノ希望スル所ト述ベ、次デ純労會ノ麻谷久間氏ハ我國ノ経済組織ヲ改造セザルベカラズ。現下ノ組織ハ例ヘバ鶏ガ卵ヲ産ムモ鶏ノモノニナラズシテ飼主ノモノトナルガ如ク我々労働者ニヨリテ作リ出サレタルモノハ悉ク資本家ノモノトナルナリ。カカル組織ニ於テハ我々ハ向上ノ途ニ永久ニ見込ミナシ。改造ノ方法ハ日本魂ニヨリテ実行セザルベカラズ。佐倉宗五郎ノ如ク熱烈ナル精神ヲ無視シテモ大ナル精神ヲ有ツル者ハ之ヲ意トセズ。而シテ資本ハ社会ヲ共ニ國有トセザルベカラズ。即チ資本等ハ大ナル國体ノ組織ニヨリテ之ヲ実行セントス云々ト述ベ、次デ国民新聞社ノ山田毅一氏ハ日欧米ニ於テハ労働組合ハ非常ニ発達シ其ノ勢力モ亦大ナリ。然レドモ我國ニ之ヲ直ニ試験的ニ持チ来ル事能ハズ。寧ロ之ヲ我國情ニ異ニシテ斟酌シテ採用セザルベカラズ。而モ彼ヲ無視シ又ハ我國ノ組織ノ根本タル家族主義ヲ破壊スルガ如キ方法ヲ採ルニ於テハ到底我國ニ於テカカル労働組合ハ発達スル事能ハザルモノナリ云々ト

労働共済会中西重義氏ハ我國民ノ通弊トシテカカル企ノ最初ニ於テハ之ニ熱中スルモ漸次ニ衰ヘ終ニ発起人ノミトナルガ如キ事アリ。本会ハカカル事ナク為ニ諸君ノ努力ニヨリテ発達セシメザルベカラズ云々

其他立憲労働党ノ伏見保、信友会ノ平野小剣ノ経済組織ノ改造ニ関シ演説アリ

最後ニ西尾菊蔵氏ノ挨拶アリテ閉会ス

閉會中ハ至極平穏ニ始終シ特記スベキ事ナシ

財團法人 協調會